

薩摩硫黄島

概況

火山活動に大きな変化は認められず、静かな状態でした。

噴煙活動の状況

三島村役場硫黄島出張所によると、硫黄岳の噴煙の高さは、50～100mで推移し、火山灰を含んだ灰色の噴煙は観測されませんでした(図1)。

地震・微動活動の状況

A型地震の回数は35回(7月44回)、B型地震の回数は106回(7月154回)と7月に引き続き少ない状態でした(図2～5)。

また、火山性微動は6日に継続時間の短い微動を1回観測しました。

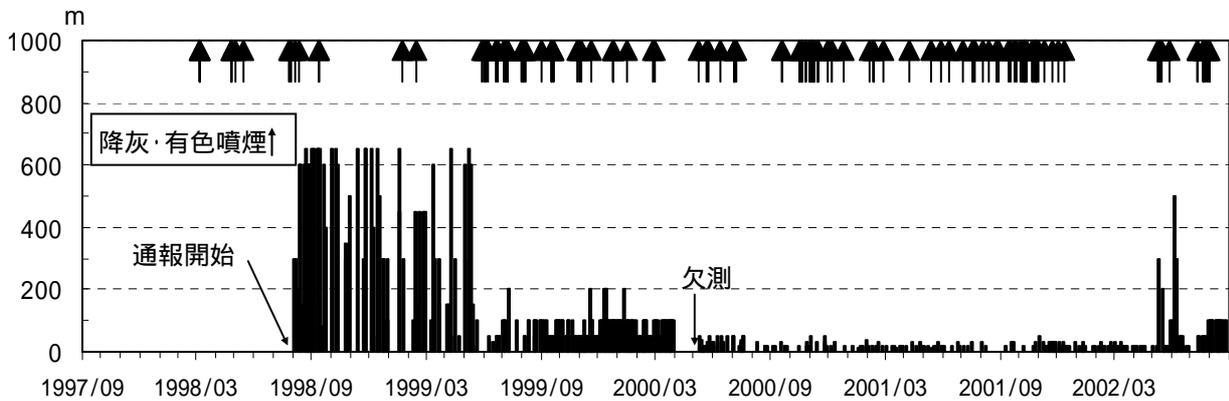


図1 噴煙の日最高高度(1998年8月～2002年8月:三島村役場硫黄島出張所による)

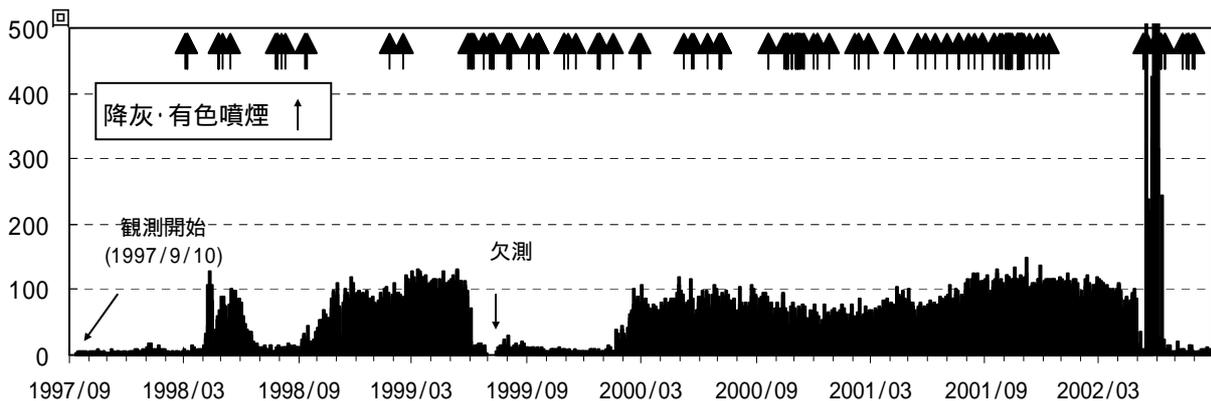


図2 地震発生回数(1997年9月～2002年8月)

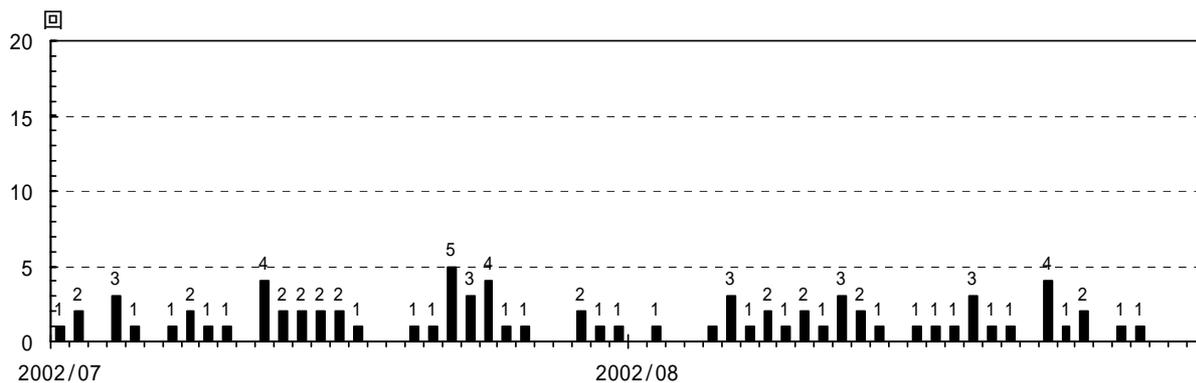


図3 A型地震の発生回数(2002年7月1日～8月31日)

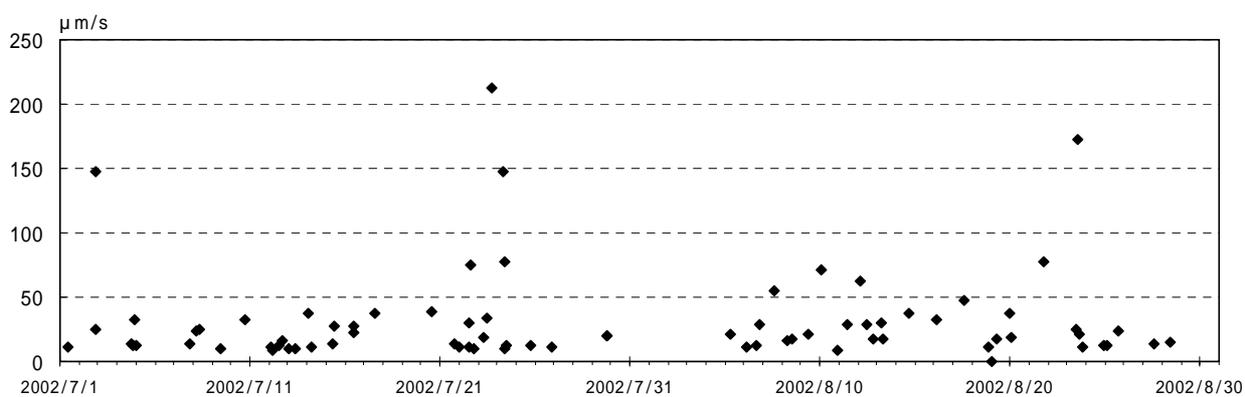


図4 A型地震の最大振幅(U-D成分)分布(2002年7月1日～8月31日)

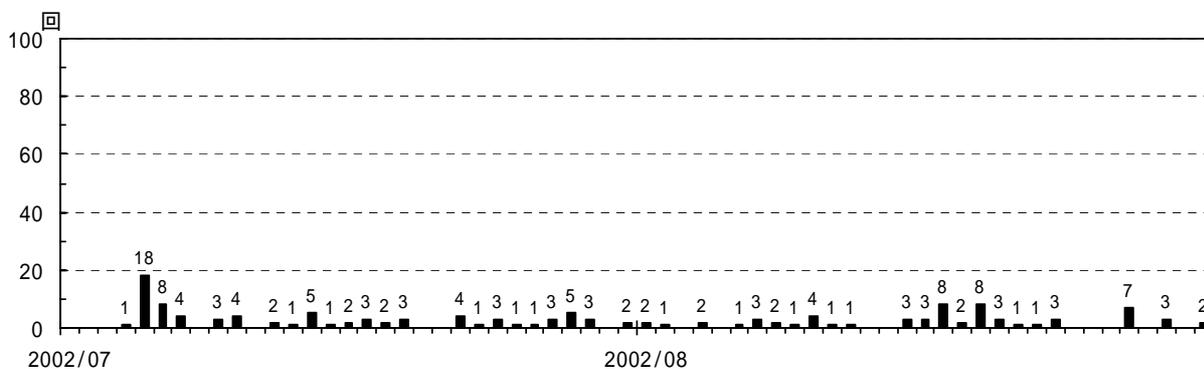


図5 B型地震の日別発生回数(2002年7月1日～8月31日)

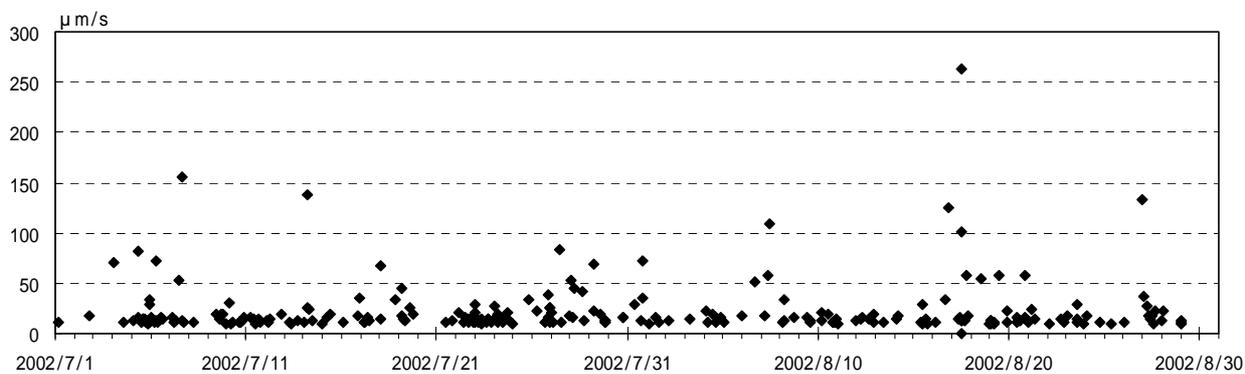


図6 B型地震の最大振幅(U-D成分)分布(2002年7月1日～8月31日)

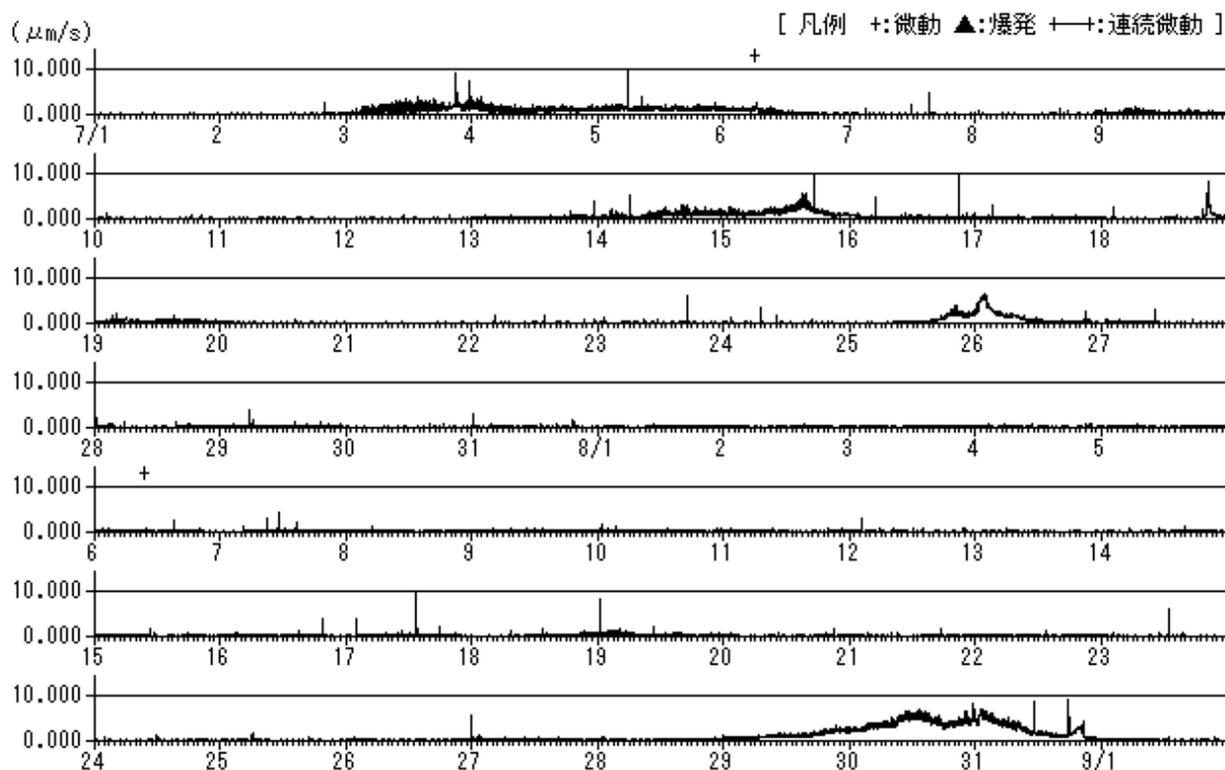


図7 1分間平均振幅(U-D成分)の時間変化(2002年7～8月)

機上観測

8月8日に海上自衛隊の協力により、ヘリコプターによる上空からの観測を実施しました。

山頂付近は雲に覆われていたため、火口付近の観測はできませんでしたが、確認できる範囲では著しい降灰はなく、大きな変化は見られませんでした。



図8 薩摩硫黄島東斜面の噴気地帯。噴気の高さは、約50m。